

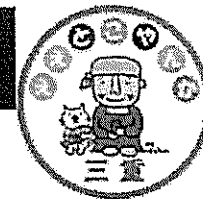
資料 4 - (2)

「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会 意見交換テーマシート

団体名：三重県町村会（多気町）

意見交換テーマ	移住定住の促進について
	<p>人口減少社会を本格的に迎える中、三重県全体の人口は、2007年の187万3千人をピークに、その後は減少に転じており、2018年は180万人を割り込み、将来2040年には、150万人規模に減少することが予測されています。</p> <p>そのため県内の市町は、地域における住民生活を持続可能なものとするために、人口減少を克服し、それぞれの地域における地方創生を実現する取り組みを進めています。</p> <p>移住定住の推進もそのひとつであり、多数の市町で共通問題となっている空き家を活用するための空き家バンク制度や就労・就農の場の創設、都市部での移住に関するPR活動などを実施しています。</p> <p>ライフスタイルの変化や子育てにかかる経済的負担など、人口を自然に増加に転換していくことが厳しい中、企業活動に伴う転入の促進や転出を抑制するなど、官民連携のもとで社会増減をコントロールすることが不可欠と考えます。</p> <p>しかしながら、移住に必要な「仕事」・「住まい」・「住宅資金」などの情報がうまく整理できなければ、移住希望者や移住に関心のある人たちに重要なこれらの情報を正しく伝えることができず、自治体の努力に見合った成果が得られないことも懸念されます。</p> <p>今後、三重県における移住定住の取り組みにおいて、県と市町、あるいは民間企業がどのような連携をし、事業を展開していくことが望ましいのか意見交換する必要がある。</p>
	<p>● 協議していただきたいポイント</p> <p>移住の促進には、「仕事」、「住まい」、「住宅資金」の三つの要素を準備し、提供することが重要だと考える。まずは県の取組を伺い、その上で、これら三つの要素について、市町がどのように準備し、提供するのが効果的か、また、県、市町がどのように連携し、発信していくのが望ましいかについて意見交換をしたい。</p>

三重県における移住促進の取組



これまでの取組と成果

○東京有楽町に「ええとこやんか三重 移住相談センター」設置（平成27年4月）

大阪、名古屋でも移住相談デスクを実施。市町と連携した移住相談セミナーの開催。

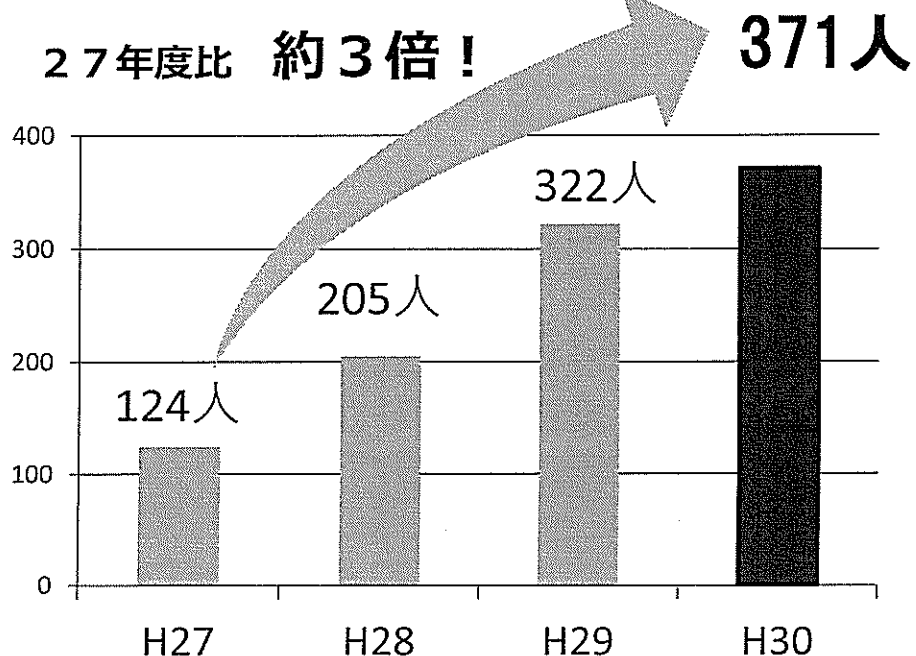
○**県外からの移住者数（※）は、平成27年度からの4年間で1,000人超！**

（※）県および市町の施策を利用した県外からの移住者

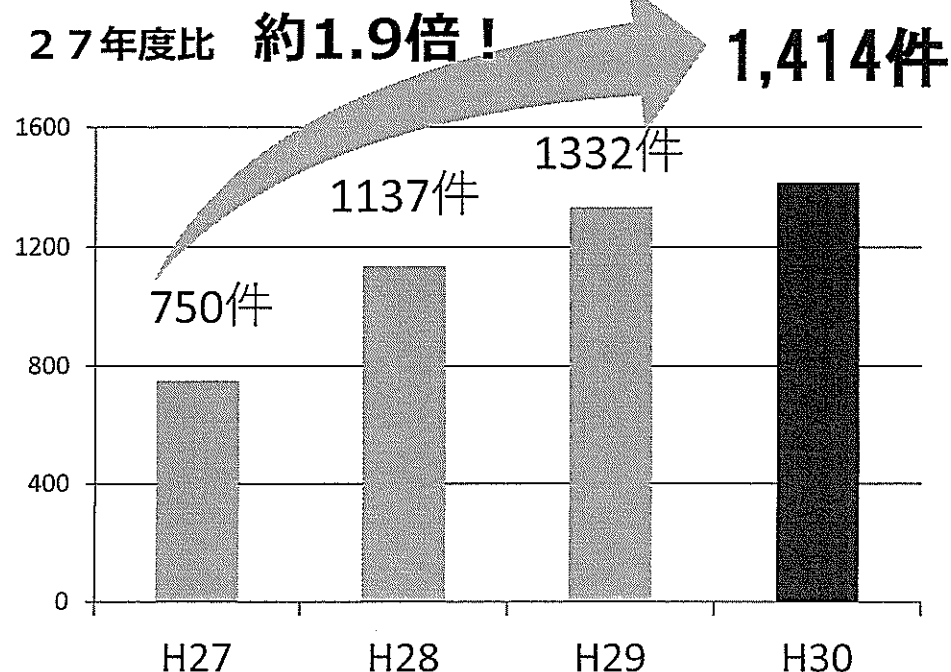
○相談件数も、平成27年度からの4年間で4,600件に！



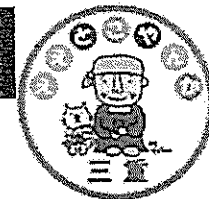
県外からの移住者数



相談件数



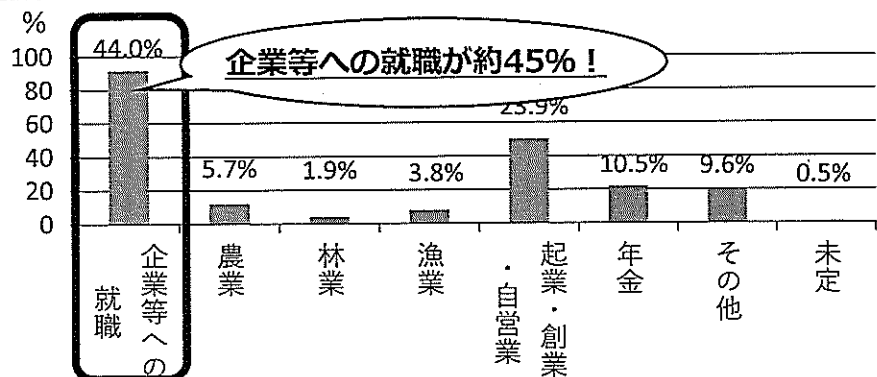
三重県における移住促進の取組



「仕事」「住まい」「住宅資金」の効果的な提供

仕事について

平成30年度移住者の移住後の生活基盤（延べ209件）



企業等への就職が約45%!

就職相談アドバイザーの配置

○移住相談センターに移住相談アドバイザーとともに就職相談アドバイザーが常駐し、きめ細かに対応

移住・就業マッチング支援事業

○「みえ」の仕事マッチングサイト
：昨年10月開設



○東京圏からサイトを通じて移住・就職した人を対象に、市町と連携して、移住支援金制度を創設

住まい・住宅資金について

○市町の空き家バンク登録物件情報を県の移住・交流ポータルサイト

「ええとこやんか三重」で一元的に情報発信

○全国空き家バンク推進機構（ZAB）と昨年6月に空き家利活用推進協定を締結

○県と百五銀行との包括協定により、百五銀行が移住者向け住宅ローンを実施

県・移住HPアクセス数

H27：約16万件
⇒H30：約45万件

約2.8倍!



空き家情報をまとめて掲載

市町職員等を対象とした研修会を開催



ZABと連携し実施

空き家利活用セミナーの様子

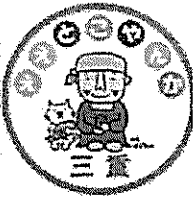
庁内連携について

所属や部局間で連携し、取組を進めることが必要

移住促進庁内連携課長会議を設置

○関係部局（移住、雇用、農林水産、子育て、住宅など）を構成員とする課長級会議を設置し、連携した取組を推進。

三重県における移住促進の取組

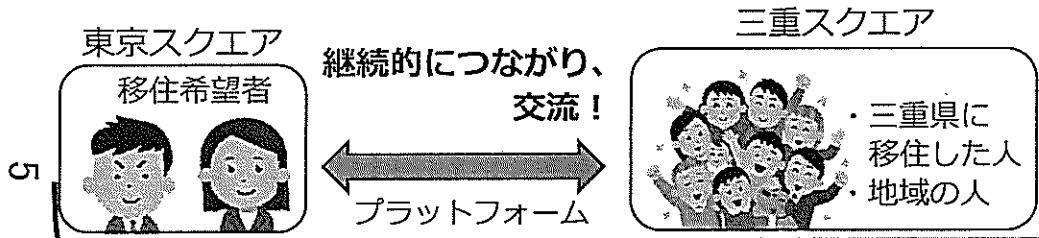


✌️ 県と市町の連携と情報発信

令和2年度の新たな取組

三重暮らし魅力発信サポーターズスクエア

首都圏に移住希望者のコミュニティ（東京スクエア）、県内に移住者や移住者の受け入れを希望する地域の人等のコミュニティ（三重スクエア）を形成。継続的に移住者や地域と関わり、交流するためのプラットフォームを整える。



三重暮らし応援コンシェルジュ

新たに「三重暮らし応援コンシェルジュ」を設置し、移住者や地域住民の方に、「三重スクエア」のコアメンバーとしての活動や、自らの経験、地域の情報などをもとにした移住希望者からの相談、現地案内などに協力いただく取組をスタートする。

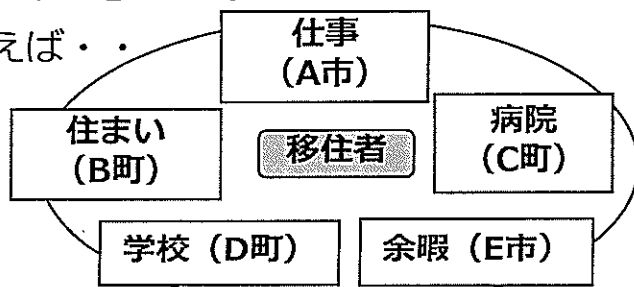
**オール三重で
選ばれる三重へ**

県と市町・市町間の連携取組

各市町の取組は充実してきたが、1つの市町で

「暮らし」が完結しない

例えば・・・



鳥羽市・伊勢市と連携したセミナーを実施

鳥羽で暮らし、伊勢で働く移住者がゲストスピーカー

→市町を越えた生活圏をPR

生活圏域での魅力発信を行う
セミナーを実施していく



移住の取組は市町と県が一体となって取り組むことで成果が上がることから、
県と市町が、車の両輪となって取組を進めることが重要